

## 情報公開文書

**課題名** : 急性期症例における離床を中心としたリハビリテーションと摂食嚥下リハビリテーションの実施状況調査

**研究期間** : 倫理委員会承認日～2020年3月31日

### 1. 研究の対象

2018年4月1日～2019年3月31日の期間に当院救命救急センター（ICU）に入院し、リハビリテーションの実施依頼のあった患者さん

### 2. 研究目的・方法

急に病気やけがをされた方に対して、運動を中心としたリハビリテーションと食事を食べるリハビリテーションの実施状況を調査し、リハビリテーションの対象症例の特徴やその効果を明らかにします。本調査の結果により、これまでのリハビリテーション介入の安全性や有用性を明らかにでき、さらに今後のリハビリテーションを実施するために必要な注意点等を明らかにすることができると考えております。

また、この研究に必要な情報はすべて診療録より取り出しますので、あらためて患者さんに行っていたいくことはありません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・性別などの基本情報、診断名、入院期間、手術の有無、鎮静剤の使用の有無、呼吸管理の有無および内容、食事開始日、リハビリテーション開始までの期間、ICU入室中のリハビリテーションの有無、リハビリテーションの実施期間、食事や入浴等の日常生活動作（ADL）の最終的な状況など

### 4. 外部への試料・情報の提供

上記3.に記載された情報は研究代表施設である大分大学福祉健康科学部へ提供を行いますが、患者さん個人を特定できる情報は含まれておりません。情報は研究代表者（朝井政治）が浜松医療センターに赴き、直接受け渡しを行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究代表者：大分大学福祉健康科学部 教授 朝井 政治  
参加施設：浜松医療センター リハビリテーション技術科

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である大分大学・朝井政治が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  
住所：〒432-8580 浜松市中区富塚町 328 番地  
電話：(053) 453-7111 (代表)  
浜松医療センター リハビリテーション技術科 新屋 順子（研究責任者）

研究代表者：大分大学福祉健康科学部 教授 朝井 政治